

様

再生可能エネルギーの導入拡大に向けた
グリーンニューディール基金の
追加支援措置に関する要望書



平成26年5月

北 海 道
北 海 道 市 長 会
北 海 道 町 村 会

本道は、全国の約4分の1を占める広大な面積や豊かな森林を有し、多様な再生可能エネルギーの地域資源が豊富に存在していますが、一方、積雪・寒冷地という気候条件や広域分散型の地域特性から、化石燃料への依存が極めて高い状況にあります。

また、道内では、4町が東日本大震災の特定被災地方公共団体に指定されているほか、43市町村が「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づく防災対策推進地域に指定されているなど、東日本大震災を踏まえ防災対策の一層の推進が必要となっています。

このため、道内の各地域では、再生可能エネルギーを活用した災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの構築に向けて、太陽光や風力、小水力、バイオマス、雪氷冷熱など、地域の特色を活かした様々な再生可能エネルギーの導入の取組を進めているところです。

一方、積雪・寒冷地である本道では、近年の暴風雪災害を契機として冬期間の防災に備える観点から、発電のみならず暖房設備の整備も合わせて促進する必要があると考えているため1事業あたりの整備費が大きくなることに加え、本事業の対象となる自治体数も178市町村と他の都府県に比べ多いことから、更なる基金を造成し施設整備を推進していく必要があると考えております。

本道の「再生可能エネルギーの賦存量が全国トップクラス」といった優位性を最大限に発揮し、再生可能エネルギーの地域資源を活用した災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの構築を加速させることにより、地球温暖化対策はもとより日本の新しい国づくりに地域から貢献して参りたいと考えておりますので、再生可能エネルギーの導入拡大に向けたグリーンニューディール基金による財政追加支援措置に、特段のご配慮をお願い申し上げます。

北	海	道	知	事	高	橋	は	る	み						
北	海	道	市	長	会	長	石	狩	市	長	田	岡	克	介	
北	海	道	町	村	会	長	乙	部	町	長	寺	島	光	一	郎

